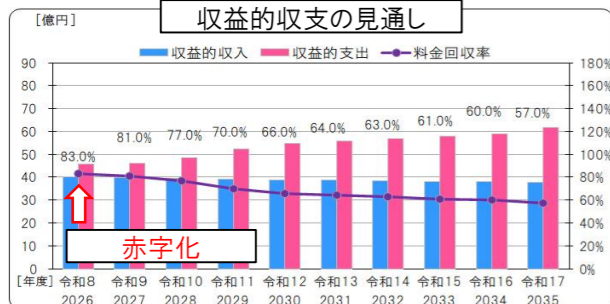
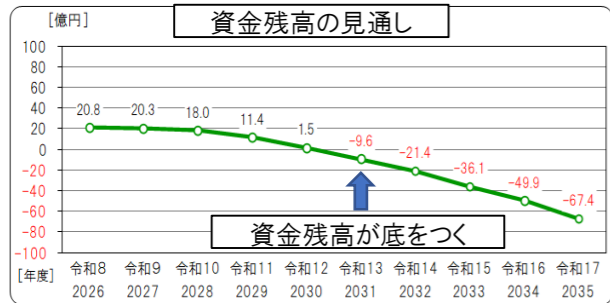


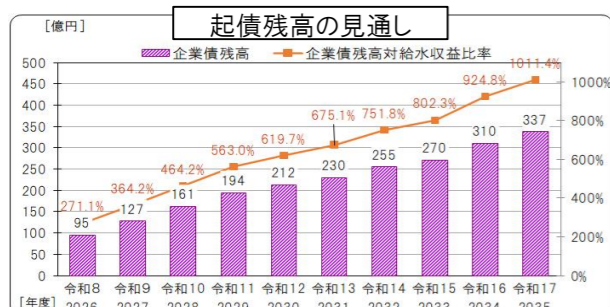
現状に基づいた財政収支の見通し ・改定を行わず、現状のまま推移した場合



令和8年度から支出が収入を上回り、令和17年度には約24億円収支不足となります。



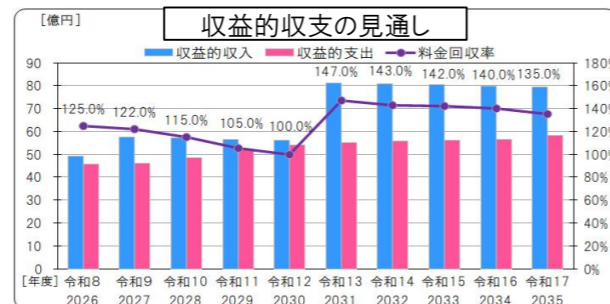
資金残高は令和13年度にマイナスとなります。



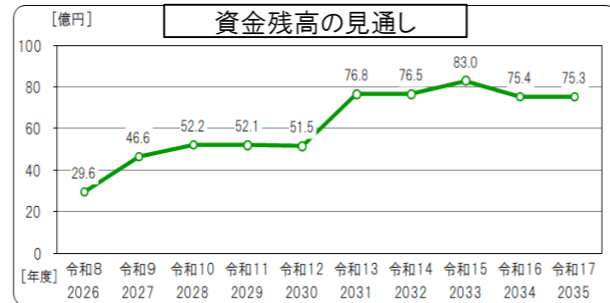
給水収益比率は上昇を続け、17年度には1000%を超えます。

・計画初年度となる令和8年度から収益的収支は赤字となり、その後、赤字額は増え続けます。
・資金残高は令和12年度に10億円を下回ると予想され、**運転資金が不足する可能性があります。**

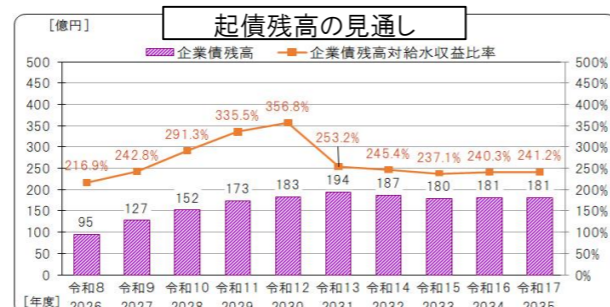
《パターン 50-①》 ・R8に50% R13に50%改定した場合



計画期間中、収益的収支の黒字と料金回収率100%以上を達成できます。



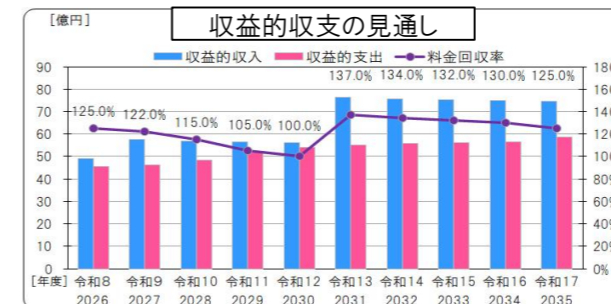
概ね1年分の給水収益とほぼ同額を確保でき、災害時等での復旧費用や事業継続の資金、施設更新の費用として利用できます。



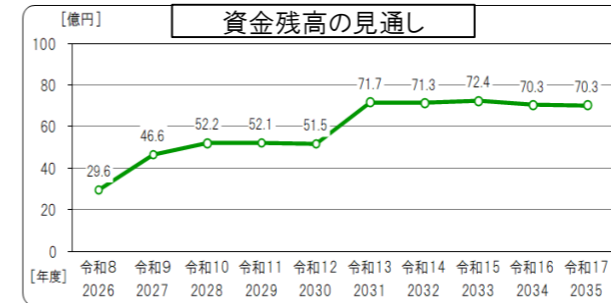
給水収益比率が一時期、類似団体平均の300%を超えますが、R13改定で250%前後に抑えられます。

・3つの財政目標を全て満たせますが、比較的高い改定率となります。
・料金の急激な上昇は、ある程度抑えられ、R13改定で、再び収入が上昇し、**起債残高対給水収益比率も抑制**できます。

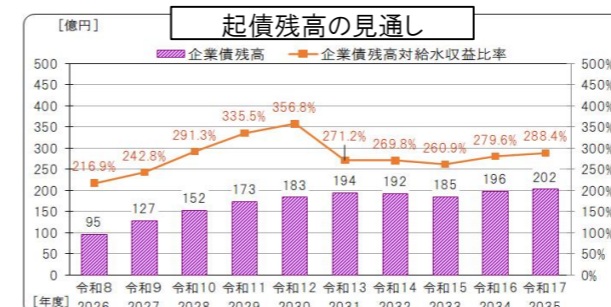
《パターン 50-②》 ・R8に50% R13に40%改定した場合



計画期間中、収益的収支の黒字と料金回収率100%以上を達成できます。



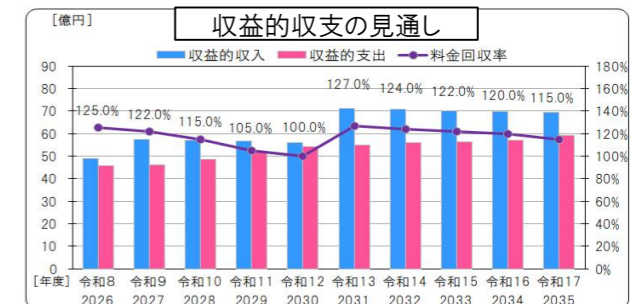
概ね1年分の給水収益とほぼ同額を確保でき、災害時等での復旧費用や事業継続の資金、施設更新の費用として利用できます。



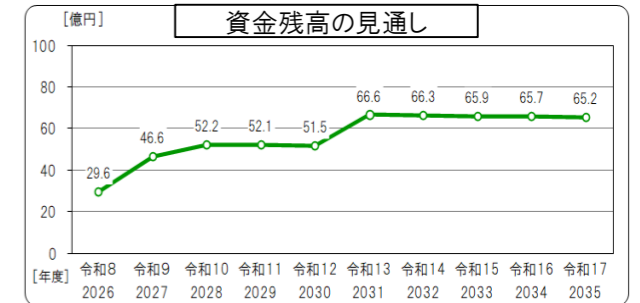
給水収益比率が一時期、300%を超えますが、R13改定で300%未満に抑えられます。

・3つの財政目標を全て満たせますが、比較的高い改定率となります。
・料金の急激な上昇は、ある程度抑えられ、R13改定率はやや低く抑えてますが、**起債残高対給水収益比率も抑制**できます。

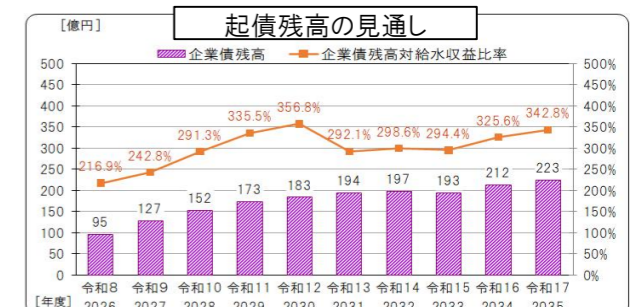
《パターン 50-③》 ・R8に50% R13に30%改定した場合



計画期間中、収益的収支の黒字と料金回収率100%以上を達成できます。



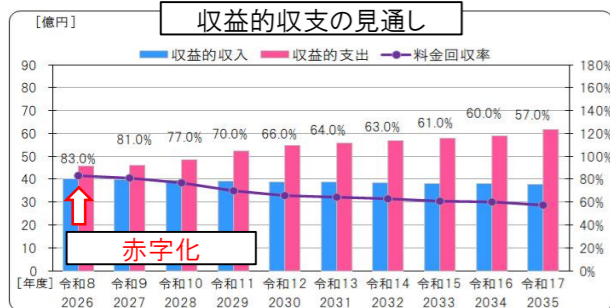
概ね1年分の給水収益とほぼ同額を確保でき、災害時等での復旧費用や事業継続の資金、施設更新の費用として利用できます。



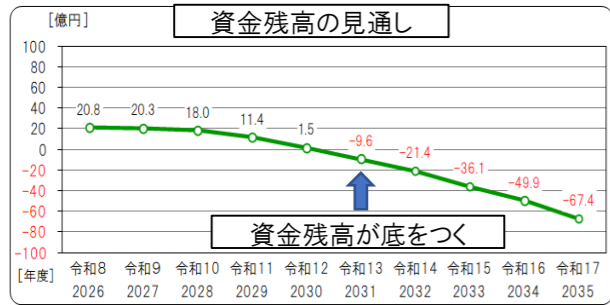
給水収益比率は2度の改定でも最終的に350%になります。

・3つの財政目標を全て満たせますが、比較的高い改定率となります。
・料金の急激な上昇は、ある程度抑えられ、R13改定率は低く抑えているため、**起債残高対給水収益比率が十分に抑制**できません。

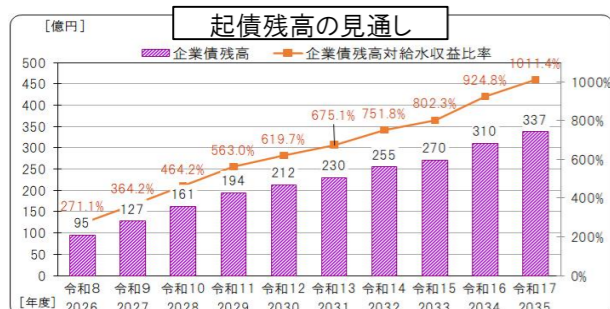
現状に基づいた財政収支の見通し
・改定を行わず、現状のまま推移した場合



令和8年度から支出が収入を上回り、令和17年度には約24億円収支不足となります。



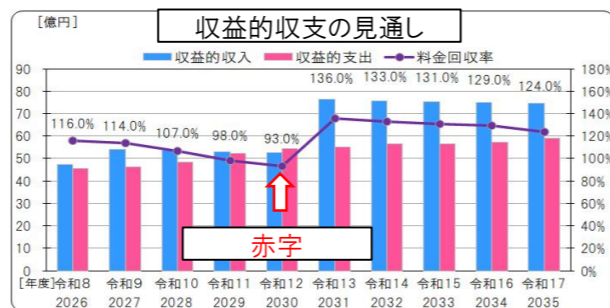
資金残高は令和13年度にマイナスとなります。



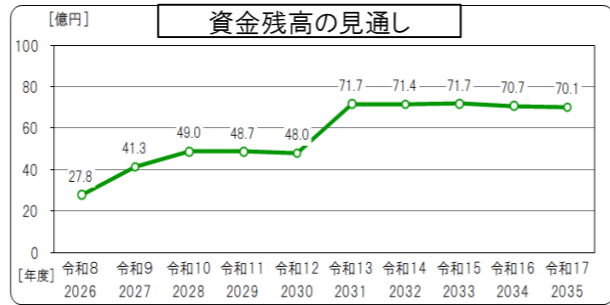
給水収益比率は上昇を続け、17年度には1000%を超えます。

・計画初年度となる令和8年度から収益的収支は赤字となり、その後、赤字額は増え続けます。
・資金残高は令和12年度に10億円を下回ると予想され、**運転資金が不足する可能性があります。**

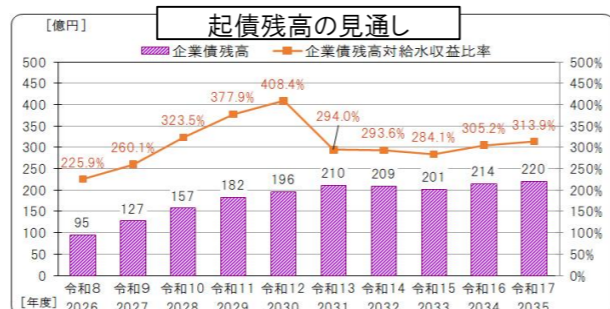
《パターン 40-①》
・R8に40% R13に50%改定した場合



・R12で一時的に赤字、R11と12で料金回収率が100%を切りますが、それ以外では目標を達成できます。



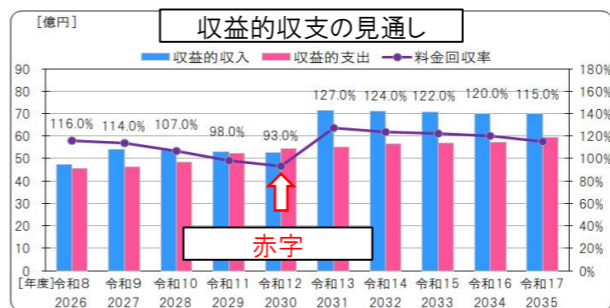
・概ね1年分の給水収益とほぼ同額を確保でき、災害時等での復旧費用や事業継続の資金、施設更新の費用として利用できます。



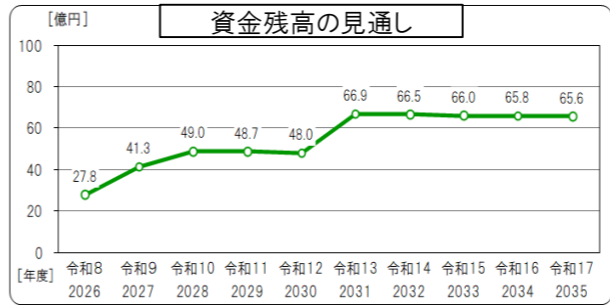
・給水収益比率が一時期、400%を超え、R13改定でも最終的に300%を超えます。

・財政目標①が達成できず、R13改定後も厳しい状況になると思われます。
・料金の急激な上昇は、ある程度抑えられますが、R13改定では高い上昇率となります。また**起債残高対給水収益比率は十分に抑制できません。**

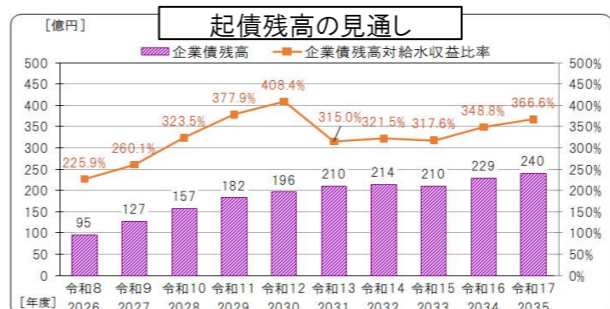
《パターン 40-②》
・R8に40% R13に40%改定した場合



・R12で一時的に赤字、R11と12で料金回収率が100%を切りますが、それ以外では目標を達成できます



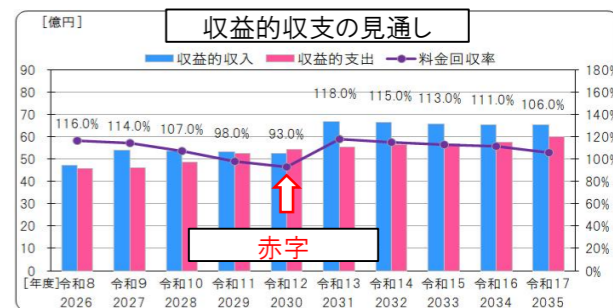
・概ね1年分の給水収益とほぼ同額を確保でき、災害時等での復旧費用や事業継続の資金、施設更新の費用として利用できます。



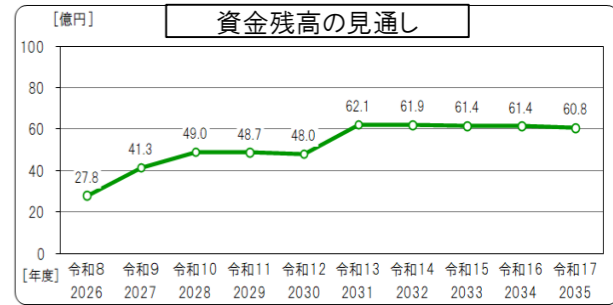
・給水収益比率が一時期、400%を超え、R13改定でも最終的に350%を超えます。

・財政目標①が達成できず、R13改定後も厳しい状況になると思われます。
・料金の急激な上昇は、ある程度抑えられますが、R13改定でも上昇率を抑えたため、**起債残高対給水収益比率は十分に抑制できません。**

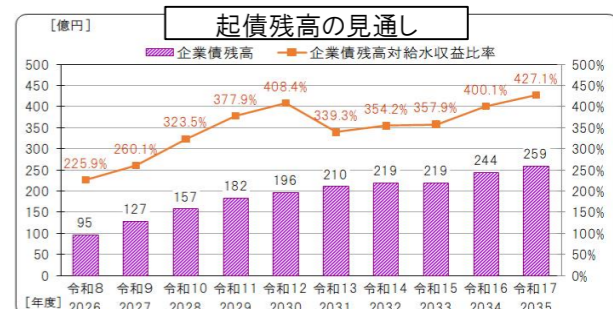
《パターン 40-③》
・R8に40% R13に30%改定した場合



・R12で一時的に赤字、R11と12で料金回収率が100%を切りますが、それ以外では目標を達成できます



・概ね1年分の給水収益とほぼ同額を確保でき、災害時等での復旧費用や事業継続の資金、施設更新の費用として利用できます。



・給水収益比率が一時期、400%を超え、R13改定でも最終的に400%を超えます。

・財政目標①が達成できず、R13改定後も厳しい状況になると思われます。
・料金の急激な上昇は、ある程度抑えられ、R13改定率は低く抑えているため、**起債残高対給水収益比率が抑制できません。**

